

Rotary SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長:増本 一也 幹 事:松尾 文隆
事務所:佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場:佐世保玉屋8階(毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 29 年 5 月 10 日

第 3,258 回例会

NO 39

【本 日】会員数 74 名(出席免除会員 24 名)・出席 58 名・免除者欠席 8 名・欠席 8 名・ビジター 0 名・出席率 78.38 %

【前々回】会員数 74 名(出席免除会員 24 名)・出席 52 名・免除者欠席 10 名・欠席 12 名・メークアップ 12 名・修正出席率 100.00 %

会長挨拶

会長 増本 一也

本日はこの例会後、松尾慶一さんの白山陶器での職場体験です。絵付け等の体験が出来そうです。松尾慶一さん、よろしくお祈りします。



その後、18時30分より、2018～2019年度 福田金治ガバナー予定者の発足式が開催されます。皆さん、よろしくお祈りします。

先月末(4月28日)、長崎新聞に私達のラホヤRC訪問の記事が掲載されました。姉妹クラブ・ラホヤRCが10年以上続けているティファナビルド事業に対して、私達佐世保RCが1万ドルの寄付をしたことを取り上げて頂き、佐世保RCの活動の対外的PRになりました。自らペンを取って下さった長崎新聞社支社長の石田謙二会員に大変感謝です。佐世保RCの活動を広くPRすることは、クラブのイメージアップと共に会員増強につながっていくと思います。

ところで、2020年10月20日(火)に、東京RCは、創立100周年を迎えます。つまり、日本にロータリーが誕生して100年になります。

その関係で、昨年「日本のロータリー100周年委員会」が設置されました。その100周年委員会には「ビジョン策定特別委員会」「記念式典等特別委員会」「組織運営特別委員会」3つの特別委員会が設置されており、各クラブへアンケート調査が送ってきています。

100周年委員会の設置目的は、100周年を迎える日本のロータリーに相応しい事業展開をすることによって、連帯感を育みロータリーの基盤を強化ということが、大きな目的のようです。この100周年事業について、以下の4項目が記載されています。

- (1) 奉仕の新世紀に向け、日本らしいビジョンの策定に関する事
- (2) 100周年をどの様に迎え祝うかに関する事
- (3) 東京オリンピック・パラリンピックにロータリーが、どのように関わることが出来るかに関する事
- (4) 日本のロータリーに存在する組織の連携強化に関する事

この機会に、日本のロータリーが従来にも増して存在感と発信力を高め、世界のロータリアンと対話し、協調体制を一層深めていくことを結びの言葉にされていました。

又、2020～2012年度は、佐世保RC創立70周年を迎えます。このアンケートを参考に、佐世保RCの今後の将来ビジョンを考えていくことも大切ではないでしょうか。特に若い会員の方々が、このような議論に参加してくれることを期待しております。

【第11回理事会報告】

1. 前回議事録の承認
2. クラブ協議会について
3. 西海学園創立記念第55回珠算選手権大会の後援について
日時：平成29年6月18日(日) 10:00開会
会場：西海学園高等学校 体育館
佐世保ロータリークラブ賞：
30,000円(トロフィー18本分) 【承認】
4. 炉辺会合例会計画について 【承認】
日時：平成29年5月31日(水) 18:30
会場：佐世保玉屋
5. 観桜例会収支報告について 【承認】
6. 6月例会プログラムの変更について 【承認】
7. 「空き缶回収キャンペーン」について
日時：平成29年6月4日(日) 9:00
(名切公園噴水前)
8. 第12回理事会日程について
9. その他
予定していた田植え事業は、諸事情により中止

例会記録

- 国歌「君が代」
- ロータリーソング「それでこそロータリー」

幹事報告

幹事 松尾 文隆

1. 国際ロータリー日本事務局 クラブ・地区支援室
2017-18年度会員増強／寄付目標「ロータリークラブ・セントラル」の入力のお願い
2. 第2740地区ガバナー 崎永 剛さん
地区大会 50年以上在籍者表彰状
円田 三郎さん、武井 洋一さん
3. 日本生命保険相互会社
元会員 伊藤 正和さん
転勤ご挨拶

委員会報告

■出席・例会委員会 委員長 坂本 敏

炉辺会合例会を5月31日(水) 18:30より開催いたします。昼間の例会はございませんので、よろしくお願ひします。



■インタラクティブ・青少年活動委員会 委員長 古賀 久貴

例会開催報告

日時：5月9日(火) 17:00
会場：西海学園記念館会議室
出席者：インタラクティブから9名出席でしたが、現在は18名の会員数です。
佐世保RC 古賀 久貴、菅沼宏比古さん



第1回例会で「インタラクティブとは」の説明があり、本年度の活動計画の話がありました。活動計画は、米軍基地の学生との交流、幼稚園児との交流、他のインタラクティブとの交流という三つの柱で活動を行いたいとのことでした。そのほか、月2回の例会は定例日に困難な場合でも振り替えて開催するよう行いたいとのことでした。

次回開催は5月16日です。6月は6日(火)と20日(火)開催予定です。メイクアップにもなりますので皆様のご出席をお願い致します。

■資金推進・財団・米山委員会

委員長 芹野 隆英

福田金治会員より、(公財)ロータリー米山記念奨学会と年次プログラム基金へご寄付をいただきました。



次年度報告

次年度副幹事 池田 真秀

- ①2017-18年度 第5回期前理事会
5月17日(水) 17:00～
aitowa 4階 小ホール
- ②2017-18年度 大委員会
5月17日(水) 18:30～
aitowa 4階 Mスタイル



各委員長へお願いです。ロータリー活動計画書の期限が本日までとなっておりますが、まだ少ないようです。急いで提出をお願いします。次週の大委員会の資料といたしますので、よろしくお願ひします。

慶 祝

50年以上在籍者表彰

円田 三郎さん、武井 洋一さん



ニコニコボックス

親睦活動委員会 河原 忠徳

円田 三郎さん、武井 洋一さん

永年在籍50年以上の表彰を受けましたので、ニコニコします。

増本 一也会長、松尾 文隆幹事
大久保利博副幹事、古賀 巖さん
川口 博樹さん、円田 浩司さん
大神 邦明さん、有蘭 良太さん
松尾 貴さん、加納洋二郎さん
納所 佳民さん、石田 謙二さん
大神 吉史さん、木村 公康さん
西田 勝彦さん、吉田 英樹さん
遠田 公夫さん、山下 尚登さん

佐々木秀也さん、橋高 克和さん
平尾 幸一さん、中村 徳裕さん
米倉洋一郎さん、安部 直樹さん
福田 金治さん

松尾慶一さんの卓話に期待してニコニコします。

松本 英介さん

今年もまた御芳情を賜り嬉しく思いました。
(注)亡き妻の命日に御供物を頂戴したのです。

安部 直樹さん

7年前、佐世保RCの60周年の記念行事によって開催されたハイスクール茶会が、今年も5月20日に開かれます。県内の茶道部18校の高校生が、今やハウステンボスで茶の披露が出来る事が大きな誇りと喜びになりました。350名の高校生、2,500名の参列者、佐世保RCのまいた種が、今、大きく花開きました。百万本のバラが咲く中、是非、高校生の茶の点前をご覧ください。

石田 謙二さん

ニコニコします。おかげさまで、長崎歴史文化博物館で開催中の「ジブリの大博覧会」が好評です。「魔女の宅急便」「となりのトトロ」など数々の話題作を生み出したスタジオジブリの30年の歩みがよく分かる展覧会です。

皆さまの中で関心のある方は石田までご連絡ください。安い特別鑑賞券に招待券を付けたセットを用意できます。

橋詰 文雄さん

前回欠席時に、結婚記念月のお祝いをいただきましたのでニコニコします。

ニコニコボックス 本日合計 37,000 円
累計 1,042,000 円

卓 話

『誰も知らない白山陶器の面白い話 Part.1』

会員 松尾 慶一
(白山陶器株) 代表取締役社長



波佐見焼の歴史について、サラットとお話いたします。庶民食文化発祥の地 肥前・波佐見焼と言いますが…。ご存知のように平成28年度「日本磁器のふるさ

と 肥前」は、～百花繚乱のやきもの散歩～として日本遺産に認定されました。文化庁が認定する日本遺産は、有形、無形の文化財をテーマでまとめ、地域の魅力を発信するものです。

昨年度、認定された肥前窯業圏は8つの地域で、唐津・伊万里・有田・武雄・嬉野・波佐見・三川内・平戸が認定されました。

その波佐見焼は慶長4年、波佐見町村木の畑ノ原、古皿屋、山似田の3か所に連房式階段状の登窯を築き、やきものづくりを始めました。これが波佐見焼の始まりで、今から約400年前のことでした。

波佐見焼といえば染付と青磁が中心ですが、初めは施釉陶器を生産していました。その後、村内で磁器の原料が発見され、しだいに染付と青磁を中心とする磁器へ移行していきました。そして、ついには大村藩の特産品となり、江戸後期には染付の生産量が日本一になったのであります。

大村藩主の命で量産をし外貨の獲得に邁進するうちに波佐見焼は、染付・青磁ともに大生産地に発展してきたのです。

皿山役所を設置し、磁器の生産に力を入れる大村藩。製造されるほとんどは日常食器で、唐草模様を筆で簡単に描いた「くらわんか碗」と呼ばれた、丈夫で壊れにくい、厚手で素朴な製品は波佐見焼の代表になりました。くらわんかという呼び名は、大量に造られた食器が大阪の淀川で付けられました。大船に食事を提供する小舟が「酒くらわんか～飯くらわんか～」と寄って行き、あやまって落としてもしょうがないとあきらめきれぬ価格であったと言われていいます。波佐見焼の食器づくりは、庶民の食文化を大きく変え、生活を豊かに彩り、私たちの暮らしになくてはならない身近なものになっていったのです。

伝統と新しさが巧みに調和 — 波佐見焼

波佐見焼の特徴は、透けるような白磁の美しさと、呉須(藍色)で絵付けされた「染付」の繊細で深い味わいにあります。そして、透かし彫りや編目模様の優雅さは波佐見焼ならではのものです。庶民の器として誕生した波佐見焼は、長い歴史の流れの中で、すばらしい伝統美を培ってきたのです。伝統の技と、これを伝承する心は、職人から職人へ、確実に受け継がれています。「くらわんか碗」と呼ばれる茶碗や皿、「三股徳利」など、たくさんの日用食器が生産され、伊万里商人の手によって、江戸・大阪方面に大量に売り出された波佐見焼です。

伊万里港から出荷されて伊万里が世界に広まりました。有田駅から出荷されて有田焼が国内を席卷しました。高速道路の時代となり、波佐見・有田インターチェンジが出来たので、次は波佐見焼の時代だと思ったのは甘かった。しかし、東京ドームのテーブルウェアフェスティバルで波佐見焼の知名度は確立して来ました。その時代の人々のさまざまな暮らしにあわせて、変化し、改良し、提案してきました。波佐見焼の400年の歴史は日本の食文化の歴史でもあるのです。

それでは本日、職場訪問にお越しになる白山陶器の歴史を少々。

波佐見焼400年の歴史から見れば、白山陶器は中堅処でしょうか。創業1779年、安永8年からです。まだ238年の歴史しかありませんし、私もまだ8代目であります。しかしながら、私が目にし、確認できたのは、先祖が書き残した家系図みたいなものと、15代前からの墓石しかありません。そして、やきもの造りは、私の父の代からしか分かりません。

その父、松尾勝美は、東ロータリークラブチャーターメンバーでありましたが、肥前地区におけるやきもの考え方を大きく変えた張本人だったのです。何がと言え、伝統的なやきもの産業にデザインという思考を取り入れたのです。当時は意匠という言葉しかない時代に、デザインを商品開発のツールに用いました。その為に、やきものデザイナーを探すことから始めました。良い出会いがあり、優秀なデザイナーと巡り会い、多くの製品を世に出しました。それを評価してもらうために、いち早くグッドデザイン選定に応募し続けた結果、通産省からのグッドデザイン賞111点、ロングデザイン特別賞を42点受賞して、日本デザイン振興会からのグッドデザイン賞も20点を受賞して参りました。

これらの他にも、頂いてまいりました国内外からの数々の賞は、私たちの物造りへの自信となり、誇りです。



松尾慶一(右端)さんに説明していただきました



絵付け体験



5~6月 例会卓話者予定

- 5月24日 日本たばこ産業(株)
佐世保支店長 三浦雄一郎 様
- 5月31日 炉辺会合
福田 金治パスト会長
- 6月7日 新会員 福田 金吾さん
(株)福勇商店 代表取締役社長
- 6月14日 佐世保工業高等専門学校
校長 工学博士 東田 賢二 様

西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定

- 日時/6月6日(火) 17:00~〔予定〕
6月20日(火) 17:00~〔予定〕
会場/西海学園高等学校 記念館 会議室

長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定

- 日時/5月25日(木) 19:00(食事)~〔予定〕
会場/長崎国際大学 食堂

- *西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、メイクアップにもなりますのでご活用ください。
*RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当: 筒井 和彦)

(カメラ担当: 石田 謙二)

クラブ会報委員会

委員長 平尾 幸一
副委員長 石田 謙二

委員 田中 信孝・西村 一芳・松尾 貴
松本 淳也・筒井 和彦